

学校教育目標

学術や芸術文化の習得と探究を通じて、高い志と未来を切り拓く豊かな創造力を持ち、国際社会に貢献する人材を育成する。

目指す学校像（ビジョン）

- すべての生徒の個性や能力を最大限伸ばすとともに生徒の高い志を育み、その実現に向けた希望進路をかなえる活力ある学校を目指す。
- ① 生徒が成長を実感するなかで夢を育み、社会貢献を考えるなかで夢を志へと高め、その実現のための力をつけることのできる学校
  - ② 生徒が学ぶ楽しさを実感し、生涯にわたって学び続ける意欲を育む学校
  - ③ 生徒が寛容の精神を持ち、お互いの価値観の違いを認め、尊重することができる温かい学校
  - ④ 部活動・学校行事・地域との交流などを通して、知性と品格を兼ね備えた豊かな人間性を育む学校

領域	中期経営目標等	短期経営目標等	項目番号	具体的方策	評価指標・評価基準				中間評価	期末評価	評価指標・評価基準				担当部署	外部評価
					努力指標						成果指標					
学力の向上	主體的で深い学びを通して、生徒に高い志とその実現に向けた強い意志を育み、希望進路の実現に向けた意欲と学力の一層の向上を図る。	生徒の実態や進路を取り巻く環境の変化を踏まえた組織的な進路指導を推進し、生徒の希望進路の実現を図る。	1	進路指導について、学力向上対策会議、進路検討会議、関係資料を通じて、学年、教科等が指導方針を共有して指導を行う。	教職員アンケートにおいて、「共有した指導方針に基づき指導を行っている。」に対して肯定的な回答をした割合						第3学年9月時点での進路希望調査による第1志望校への出願率				進路指導部	
					4	95%以上	3	85%以上			4	50%以上	3	40%以上		
					2	75%以上	1	75%未満			2	30%以上	1	30%未満		
		個々の生徒の希望進路に応じた指導の充実を図れるよう、主體的で深い学びを組織的に推進し、生徒の学習意欲と学力の向上を図る。	〇三年間を見通した総合的な探究の時間の再構築を行い、その取組を各教科の授業改善につなげる。 〇主體的で深い学びの実践に向け、各教科で研修や研究授業等を行う。	2	教職員アンケートにおいて、「研修や研究授業、相互授業観察等を通じて、主體的で深い学びの実践に努めている。」に対して肯定的な回答をした割合						生徒アンケートにおいて、「基町高校の授業は、学力向上に役立っている。」に対して肯定的な回答をした割合				教務部 教育デザイン部	
					4	90%以上	3	80%以上			4	95%以上	3	90%以上		
					2	70%以上	1	70%未満			2	85%以上	1	85%未満		
		創造表現コースの専門活動を通して個性を伸ばし、確かな実技力と豊かな表現力を持って主體的に進路を切り拓こうとする生徒を育成する。	美術分野における教育環境の充実と指導力の向上に努め、生徒個々の実技力と表現力の育成を図る。	3	外部機関等と連携した多様な表現活動を通じて、生徒が主體的に進路について探究する機会を設けた回数						生徒アンケートにおいて、「創作活動を通じて、進路希望に対応した実技力・表現力の習得に努めている。」に対して肯定的な回答をした割合				美術科	
					4	10回以上	3	8回以上			4	95%以上	3	90%以上		
					2	6回以上	1	6回未満			2	85%以上	1	85%未満		
豊かな人間性の育成	部活動・学校行事・地域との交流などに生徒が主體的に取り組むことを通じて、生徒の自己肯定感を高め、「自主自律」や「寛容」の精神を培う。	「挨拶」「時間を守る」「清掃」の三点について、その根本精神（目配り、気配り、心配り）を意識させて凡事徹底を図り、豊かな人間性の土台をつくる。	4	ホームルームや授業、部活動等あらゆる場面を通して、凡事徹底の意義と実践の徹底を図る。	教職員アンケートにおいて、「三点の凡事徹底を意識した指導を行っている。」に対して肯定的な回答をした割合						生徒アンケートにおいて、「三点の凡事徹底を心がけている。」に対して肯定的な回答をした割合				生徒指導部 健康環境教育部	
					4	95%以上	3	90%以上			4	90%以上	3	80%以上		
					2	85%以上	1	85%未満			2	70%以上	1	70%未満		
					教職員アンケートにおいて、「学習支援・教育相談委員会により、生徒の情報が適切に共有されている」に対して肯定的な回答をした割合						年間欠席日数が10日を超えた生徒数の昨年度からの増減率					
		各部署間の連携を密に取って教育相談体制の充実を図り、欠席の生徒に対する早期の予防的対策を推進する。	学年会やスクールカウンセラーとの連携を密にし、課題を抱える生徒に対して時機を逃さない指導を行う。	5	教職員アンケートにおいて、「学習支援・教育相談委員会により、生徒の情報が適切に共有されている」に対して肯定的な回答をした割合						年間欠席日数が10日を超えた生徒数の昨年度からの増減率				健康環境教育部	
					4	90%以上	3	80%以上			4	10%以上減少	3	10%未満で減少		
		いじめの未然防止及び早期発見と組織的に迅速な対応を行うため、学年や関連分掌間の連携を緊密に行う。	生徒指導部と学年会やスクールカウンセラーとの連携を密にし、いじめの未然防止と早期対応に努める。	6	教職員アンケートにおいて、「あらゆる場面でいじめの未然防止と早期発見に努めている。」に対して肯定的な回答をした割合						生徒アンケートにおいて、「学校生活を安心して送ることができている。」に対して肯定的な回答をした割合				生徒指導部	
					4	95%以上	3	90%以上			4	95%以上	3	90%以上		
		地域の小学校や町内会等との連携等を通して、生徒の利他の心を養う。	さわやかハイスクール支援事業等を通して、地域や社会に貢献する。	7	学校の特色を生かし、地域や社会と連携した取組の回数						生徒アンケートにおいて、「私は地域や社会に貢献したいと思っている。」に対して肯定的な回答をした割合				健康環境教育部 (その他関係部署)	
					4	10回以上	3	8回以上			4	90%以上	3	80%以上		
		教職員が心に余裕をもって生徒と向き合う時間が確保できるよう努める。	業務の効率化・精選に努め、定時退校を推進する。	8	教職員アンケートにおいて、「業務の効率化を図り、生徒と向き合う時間の確保に努めている。」に対して肯定的な回答をした割合						1か月の時間外在校等時間が平均45時間以内の教職員の割合				全教職員	
					4	90%以上	3	80%以上			4	60%以上	3	50%以上		
	働き方改革の推進	教職員が心に余裕をもって生徒と向き合う時間が確保できるよう努める。	8	教職員アンケートにおいて、「業務の効率化を図り、生徒と向き合う時間の確保に努めている。」に対して肯定的な回答をした割合						1か月の時間外在校等時間が平均45時間以内の教職員の割合				全教職員		
				2	70%以上	1	70%未満			2	40%以上	1	40%未満			